

平成29年度 小豆島オリーブ検定(マイスター検定) 正解表

設問	正解	解説	出典	設問	正解	解説	出典	設問	正解	解説	出典
問1	2	林洞海はオランダの医師ニーマンに西洋医学を学び、当時将軍の侍医をしていた蘭方医で、オリーブオイルの持つ医薬品としての価値をいち早く注目し国内での生産を考えたが、フランスから輸入した苗木は風土に適さなかったため繁殖せず、失敗に終わったと言われている	テキスト9	問18	4	平成29年7月、江田島市大栴町のオリーブ栽培ほ場において樹勢低下及び枯死したオリーブ樹に樹幹樹皮下を食害した痕が確認されるとともに根元にゾウムシを確認		問35	3	乾燥して保存性を高めたオリーブ葉粉末を使用している	
問2	2	東京と和歌山に植栽したオリーブ苗木は、和歌山県では順調に育ち、実を結んだ。これが日本で初めて実ったオリーブとなったが、その後、台風や害虫の被害を受け、全て枯れてしまった		問19	4	中国では、オリーブアナアキゾウムシは「大粒横沟象」等と呼ばれ、山東省、福建省、台湾、四川省、雲南省等に分布している		問36	1	オレイン酸は、オリーブ油・キャノーラ油・ナッツ類などに多く含まれる一価(単価)不飽和脂肪酸を代表する脂肪酸であり、加熱の影響を受けにくい	
問3	2	モガシとはホルトノキ科の常緑高木	テキスト9	問20	3	炭疽病とは、糸状菌(カビ)の一種が侵入することで、葉や枝、果実などに発生する病気である		問37	3	他はすべて酸化の要因	
問4	1	明治41年(1908)4月22日、香川県は当時の農商務省から配布されたオリーブの苗木519本を西村宇荒神の1.2haの土地に定植	テキスト13	問21	1	オリーブ樹は葉の付け根に、花芽を持ち、開花結実する		問38	1	バルチミン酸は飽和脂肪酸であり二重結合を持たないことから、最も酸化を受けにくい構造である	
問5	2	平成28年度(2016年度)の小豆郡(小豆島町・土庄町)の収穫量は約294トン 平成29年度(2017年度)の小豆郡(小豆島町・土庄町)の収穫量は約425トン		問22	2	ジャンボカラマタ種は特大型、カラマタ種は銃弾型、ルッカ種と比較すると、ミッション種は果実の先端に突起がみられる		問39	4	原則無税である	
問6	1	ルッカは初期生育が旺盛で、樹勢が落ち着き結実開始に至るまでの期間が長い		問23	2	特産果樹生産動態等調査のうち特産果樹生産出荷実績調査は、各都道府県内で50アール以上栽培され、かつ出荷実績のある品目の栽培面積、収穫量、出荷量等の状況について取りまとめている		問40	2	第十七改正日本薬局方に記載されている	
問7	4	④セビラの果実は非常に大きく、ばらつきなく大果を着果する漬け物用品種	テキスト65～68	問24	3	食品新聞社調べによる		問41	4	「香オリ3号」は新漬・オイル兼用品種 「香オリ5号」はオイル専用品種	
問8	3	雨が多いと病気が発生しやすい。また水で果実が膨れるため、相対的に含油率は低下する。ポリフェノールは水溶性のため含水量が多いと低下する		問25	2	オリーブ茶の茶葉収穫用に栽培されているオリーブの茶畑の写真である		問42	3	IOCは、スペイン・マドリッドに本部をおく、オリーブオイルとテーブルオリーブの国際協定に基づき政府間機関であり、1959年に、オリーブ栽培と生産の保護と開発のため国際連合によって、国際オリーブオイル協会(International Olive Oil Council/IOOC)として設立。その後、2006年にインターナショナル・オリーブ・カウンシル(IOC)に改名	
問9	2	①③④は炭疽病防除に使用する薬剤である		問26	4	IOCホームページによる		問43	2	オリーブ発祥の地碑は、オリーブ植栽80周年を記念して建立された碑石である	
問10	4	①ルッカは、炭疽病に強いいため、栽培環境の悪い場所でも植栽される ②果実は2g程度と小ぶりだが、含油率は25%と非常に高いためオイル用品種として栽培されている ③樹勢が強く、大きく伸びる品種である	テキスト61	問27	1	14～16ml(12.8～14.6g)のオイルを規定のテイスティンググラスに入れる		問44	3	平成29年5月末に、国から地方版図柄入りナンバプレートへの導入要綱が示されたことを受け、香川県は、「香川ナンバー」への図柄の導入と、国に提案する図柄の検討を進め、図柄の公募を行い最優秀作を「香川版図柄入りナンバプレート」の図柄案として国に提案した	
問11	2	他にもアボカドオイルなどがある		問28	2	232nmはK232、274nmはΔK、270nmはK270及びΔKの値を求めるのに必要である		問45	4	「オリーブを守る会」は小豆島ロータリークラブの提唱により1972年2月18日に結成された。同年3月15日を「オリーブの日」と制定	
問12	2	熟度0・・・外果皮が濃緑色 熟度1・・・外果皮が黄緑色 熟度2・・・外果皮の赤や紫などへの色調変化が1/2以下 熟度3・・・外果皮の赤や紫などへの色調変化が1/2以上		問29	1	アルミニウムはアルカリ性溶液に溶解する性質を持つため		問46	2		
問13	3	横径の出荷基準の他にも赤紫系の着色がない品種固有の状態をしているかや、傷果・病果・過熟果・未熟果・小果の混入はしないという出荷基準が設けられている		問30	1	届け出はされているが、受理された事例はまだない		問47	1		
問14	2	Arbequina・・・スペイン	テキスト65～68	問31	4	ヘキサナールはオリーブオイルの香気成分の代表的なものひとつである。エタノールとオクタノールはアルコールで通常オイルには含まれていない。ノネナールはかんきつ系の香り成分である		問48	4		
問15	4	①コロネキ・・・ギリシャ ②コレッジョラ・・・イタリア ③ルッカ・・・アメリカ合衆国	テキスト65～68	問32	3	サンスターグループヘルス&ビューティーカンパニー(以下サンスター)は、オリーブ葉エキス配合チョコレート利用食品の継続的な摂取は肥満者の体脂肪率を減減させる一方で、除脂肪量(筋肉・臓器・骨)を増加させるというヒト試験の結果を第72回日本体力医学会大会にて口頭発表		問49	3		
問16	4	①アルベキナ×アルボサナの交配 ②フラントイオの実生 ③アルベキナ×ビカル		問33	2	日本からの入賞は、香川県8社および熊本県1社の計9社		問50	5		
問17	3	作物名「オリーブ(葉)」においてアディオン水和剤は、農薬登録されていない		問34	3	②はラブレ菌 ①と④はヨーグルト用乳酸菌 ③は一般的な漬物用乳酸菌					